



律
京羽二重
天

特別
~5
6054
1



特
八五
6054
1



俳諧系時二重自叙



夫能之為道嘲時風花雪月

評品禽獸草木乃望於春白之

遲と秋夜之悠と以造興暢情

者一願趣豈僅と哉故作者競出

或も津筆鋒於此子海摘詞筆

57-2500

於文苑此而宏材博覽見世人自以先

生宗匠推稱之者或曰下謂方陋

薄以初平瓶之智襟線之牙而自為

矜誇不能傳芳譽於后為遺流

臭名於當世者余自童髫名傲遊

離林含英咀華之一年平茲矣杜少

陵詩云為人性癖耽佳句語不驚人

死不休余於斯道竊以老杜此句為

志但憾質元薄柳材匪驥驥年抑

近世能字日新月盛自上古臻于邊

鄙就中當流作者洛陽最夥東阡

西陌新點者其素布北衢南街能之

師星教余今詳其姓名攷其居處
 覩錄記之及每一人採其傑作一旬類
 編校訂題曰辭借系將重立其體
 麗密密潔白固非他邦所能及也遂
 授諸剞劂氏繡梓廣傳之爾
 元祿重光協洽之歲夷則下澣日

鳳城馳陌雲
 鳳子林鴻
 操觚於烟月堂

泊湧金門
 宋林鴻



烟生揚柳一痕月
 兩弄何花數魚
 秋此景此時描不盡
 畫一船歸去有
 漁舟

又明の辨馬出塞曲のりか
 聲^一のりか
 りか
 び
 り
 び
 び
 び

他のりか
 りか



曠

韻

誹諧點者 並 誹諧師

七條通ヨリ 松原通ニテ 之間

次牙 不同

若月宿似船

五条橋通 東洞院 東入 船書所

梅の音乃

空谷響

ひろん

深之河 似船

宮川為柯居士

建仁寺通

五条上町

初音の 初音の

西中

初音の

招徠新方山

東六条

大川の 大川の

高け 高け 高け

高け

丹麓新鞭石

松原通

宝町八町

種漬多

溜

始新野川

鞭石

一松新湖外

富中通

五条上所

持つて

あきけ人の

川

湖外

宝樹新泉水

所幸町通

五条上所

涼風也

益森の池

水

泉水

滴水

松原通

宝町八町

乃心

ゆるゆる

見

滴水

是

俳諧師

並作者

五条新町 東八

娘宮乃おひの黒し氷餅 貞隆

同町

抱翁しんくしんく西乃片餅 松本

東六条

月也杜秤しんくんはれ心守

五条山手町 東八

偶插藤花のし野ふらぬる完 可休

万葉のころみんあ入

拾ひぬるおふのしし 山手松

東本寺

裸はもをぬる東の躍る 喉石

西六条

井中月今釣氷もくはる 藤松

東六条

海は月し世界しる石の曇 可廻

日柳しんくしんく

まふ今釣看るよ天の將はあ 友竹

同中ノ町 藤松町

月の如魚や戸懸人しはの海 旧白

月夜の念仏のふりりり 油巻の五葉町 軒栞

秋風や不憐の里大倉ら 白土の二丁 知足

夢の中一雨の形も氷柱の友也 七条熊木町

ひらく寝て夢の心も 五葉の又太田 琴山

砂川や涼ふの夕ま 五葉新町 梅里

聾ら 白土の町 松 吹軒

あ 五葉の町 柳西

長く 新町 林虎

人の氣れ 五葉の町 林虎

白 七条熊木町 舞台

行年や小指の爪と 西六条 道正

あ 宗法

廣きうしきくはひさぶ野原を梅香

田所

うらみさきくはひさぶのありてし

田所

たきこしきくはひさぶし

魚橋

信のくはひさぶのありてし

田所

狗もやとけもまー詩釣竿

田所

えらうしきくはひさぶのありてし

田所

花よを釣る柳れ白ひ梅の系

融の跡

しりや見えたること門縁

田所

いさうしきくはひさぶのありてし

田所

まじりしきくはひさぶのありてし

田所

深き乃を釣る柳れ白ひ梅の系

田所

まじりしきくはひさぶのありてし

七条大宮東へ
一 藤原 淡 洗 御

七条大宮東へ
二 社 永 治

七条大宮東へ
三 信 務

七条大宮東へ
四 金 虎

七条大宮東へ
五 藤 夕

七条大宮東へ
六 正 次

七条大宮東へ
七 友 貞

七条大宮東へ
八 梅 枝

七条大宮東へ
九 可 世

七条大宮東へ
十 好 和

七条大宮東へ
十一 担 吟

七条大宮東へ
十二 一 妙

早し女よ款いんく孫やなき

万葉のこま可入

好ま

古井戸の魚はきりりり月雨

古の伝へ海はこりり

東省

乳雛の淡尻移りよらり月

月雨

吟松

きりりや松栢のきりりり

仲少のきりり

松系

苗代ハ大くきりりりりり

西國流五系と

友之

いこのきりりりりりりり

山可七系上二下

志

敷きくし目ハ留りりりり

四系松色松系り

先若

推らや波の少橋としなの隈

東の松

可矣

いほきりりりりりりり

日雨

松煙

果し一宣款んせよ花さうり

日雨

花蓋

花のきりりりりりりり

日雨

無因

玉の智のきりりりりりり

日雨

さき

枕のうへに書かぬはるる花のうへに
花のうへに書かぬはるる 斑委

海王の家の七月や花のうへに
花のうへに書かぬはるる 名流

飯のうへに書かぬはるる所
花のうへに書かぬはるる 軒物

君の代に花のうへに書かぬはるる
花のうへに書かぬはるる 柳 魚水

名月と書かぬはるる花のうへに
花のうへに書かぬはるる 遊雲

類のうへに書かぬはるる花のうへに
花のうへに書かぬはるる 反木

何と書かぬはるる花のうへに
花のうへに書かぬはるる 玉花

河のうへに書かぬはるる花のうへに
花のうへに書かぬはるる 嘯吟

それ南方の紫霞の正面花を
描たその
街のうへに書かぬはるる
唐唐屋の街代はるる
錦はるる
花のうへに書かぬはるる
下の上の織のうへに書かぬはるる

一 夫夫より端正し一室より心から

い書^まの南方七条より筆^ハ取^ハじ

果^ハ上系^ハ也^ハ野^ハも^ハ陳^ハく^ハ撰^キ押^子と^テ徴^シ

得^ルも^ハ其^ハ國^ハ所^ハ野^ハの^ハ心^ハより

點^ハ若^ハ御^ハ師^ハ之^ハ位^ハ也^ハ一^ハ海^ハの^ハ傍^ハて^ハ一^ハ水

流^ハく^ハす^ハく^ハ點^ハ若^ハ御^ハ師^ハが^ハ心^ハより^ハ古^ハ流

當^ハ流^ハの^ハり^ハら^ハく^ハち^ハな^ハの^ハあ^ハこ^ハも

く^ハ御^ハ師^ハの^ハ心^ハより^ハ末^ハの^ハあ^ハみ

く^ハ御^ハ師^ハの^ハ心^ハより^ハあ^ハみ^ハの^ハあ^ハみ

誰^ハら^ハも^ハた^ハい^ハ涙^ハと^ハ平^ハの^ハあ^ハみ^ハ判^ハ

嗚^ハ呼^ハの^ハ海^ハの^ハ心^ハより^ハ菅^ハの^ハ心^ハより^ハ家^ハの^ハ心^ハより

一 嗚^ハ呼^ハと^ハ呼^ハの^ハ心^ハより^ハあ^ハみ^ハの^ハあ^ハみ

改入るるものありし書集を以て草稿の

より梓小稿^{エリ}のり下文^{ナカ}致此^{ナカ}以不感

名系佳作不^{ナカ}なるものありしに

片^{ナカ}らぬ作^{ナカ}者^{ナカ}又^{ナカ}ありし

言畢

如

作者次第不同

秋風 閑卜 寂山 不省 鉄胤

好里 道可 心嶺 雨水 岩揚

吉長 梅子 自系 風琴 一二

柏之 一桂 凉水 素是 疎琴

常信 雲呼 和閑 鏡水 芦鴨

強高 夢栖 正重 玄甫 味雨

可志 如柳 氷鬣 玄竹 風也

澄 杏木

誹謗點者並誹謗師

松原通ヨリ三条通ニテ之間

次才
不同

舟邊及我里

東四院通

後中下町

ひんぎぬと
ちんぎぬと

露味者和乃

佛光寺通

大宮西八町

打多
織入
和乃

花香堂貞末

後中下町

東四院東八町

昨二世也
一 難波
之馬跡
之糞
貞末

東白杉風山

佛光寺通東洞院東入

真之町

白梅子怪きくうり

風山

李樹堂松蓮

後山通

山手町東入

かたしつゝ家いさゝり

朱古裏花

松蓮

耕齋竹露

岩林通

四条下町

赤土入 山 露

林也

東洞院通

松光寺下町

山

赤土

林也

露

山

林拾五長年

室町通

仁徳寺下町

初子... 長年

矢野東河

宮川町

摩... 長年

誹諧師

並作者

鶴... 長年

大... 長年

昔... 長年

清... 長年

廿一

廿一

あしき海
其讀

福くわりのの備じや津後川 棠齋

あしき海とて正友

あしき海とて由章

あしき海とて荷翠

あしき海とて虎海

あしき海とて暮四

あしき海とて玉芝

あしき海とて萍水

あしき海とて加柳

あしき海とて是水

あしき海とては貨

ついでに... 月 西 国 行

あ... 国 本

も... 延 高

垣... 光 泰

鳥... 正 行

ら... 黙 石

鼻... 古 吟

月... 昌 光

あ... 移 心

狩... 万 寿 寺

鳥... 美 吉

鳥... 素 石

11

12

徳永 宗元

白

徳永 宗元

徳永 宗元

白

徳永 宗元

徳永 宗元

徳永 宗元

徳永 宗元

徳永 宗元

徳永 宗元

徳永 宗元

徳永 宗元

くも考て以命を〜一省

江原新町

乾二七月大〜梅氏

江原新町

学技の松栂を〜一歩

白色松栂

和〜の運の〜林友

白色松栂

貴儀〜松電

柳〜江原

強〜一正

江原新町

鮎の時様〜松新

白色松栂

大〜大見

白色松栂

江〜鴨流

白色松栂

江〜江

白色松栂

江〜江

白色松栂

江〜江

松の木の葉は
かきおとす
かきおとす
かきおとす
かきおとす
かきおとす
かきおとす
かきおとす
かきおとす
かきおとす

掃
掃
掃
掃
掃
掃
掃
掃
掃
掃

雪
雪
雪
雪
雪
雪
雪
雪
雪
雪

三好
三好
三好
三好
三好
三好
三好
三好
三好
三好

林松
林松
林松
林松
林松
林松
林松
林松
林松
林松

一喜
一喜
一喜
一喜
一喜
一喜
一喜
一喜
一喜
一喜

作者次第不同

鏡久	貞之	信竹	玄本	林之	自系	義雪	車柳
自矣	虎竹	松門	橋本	自矣	正三	柳春	常風
貞女	秋山	色竹	以末	可卜	家次	敏行	由之
鴻女	松令	一十	正明	定林	風夕	洞水	柳水
	水入	梅香	乃水	卜水	林山	自矣	芦秋

誹諧點者 誹諧師

三条通ヨリ 三條通ニテ之用

決牙 不同

乾貞怒

東洞院通

四條上之町

水子... 眞怒

眞珠唐如來

寺町通

四條上之町

唐... 眞怒

紫衣形言水

新町通

六角下之町

紙... 眞怒

吟花堂晚山

早町通

錦志上所

あはれ心さすは
一三三梅

晚山

高田幸依

早町通

三条下町

三門下似合
梅
石橋
舟橋

菅谷高政

田島通

錦志上所

湖仙抄
道
福
高政

東林新定之

東洞院通

六角下町

室町乃
果也
為抄
福の言
定之

椿木亭 助叟

後水通室町入
椿木のぼり

初秋のふりふり

助叟

香蒿散

有明軒 良詮

新町通

三条下町

人鬼

鳩

妹婿

良詮

高貴行立植

六角通

柳屋東入町

髪結

も髪をさかす

仕舞り

立植

俳諧師

並作者

京一

廿三

高

高

仏のあまのくぐりたる 柳 日向 五月

送るあまのくぐりたる 柳 知恩院所 御書

セツや一葉横織り 馬場と云ふ 女 日向 定縁

布らふと 叶織やゆふれ 知恩院所 長短 若翁

わりやうの饒 日向 のまね 日向 涼風

都鄙の人氣と 洞きり 日向 今約の梅 梅宗

夏の花酒 日向 奥ぬ日のうらみ 日向 法昌

盲目の松竹 日向 ともほ 日向 都書

かぐらふと 百足 日向 一葉外 日向 和梅

魚 日向 し卯木 日向 と 日向 天 日向 と 日向 風 日向 雨 日向 志訂

くぬ 日向 く 日向 花 日向 ん 日向 の 日向 ち 日向 ち 日向 ち 日向 ち 日向 集加

は 日向 り 日向 や 日向 風 日向 く 日向 く 日向 ち 日向 ち 日向 ち 日向 ち 日向 山 日向 勇 日向 心

海濱や難波りつらしき響てなし 風葉

為御所 柳多可

園廻りて母のうらみ 遠くはるる 惟豊

たふし 筆所 又

夜はきき 岡田の地 入るる 宗秋

可 六角

暁やせし 夢のふかき 火桶の 音變

可 何 又

風や仁王のほひの眼 たる 宗卜

可 一 又

聲よまれ 白魚のきんろ 人 秀真

可 一

いづれは せむしき 夢のま 残之

可 何 又

夕顔は 夫への 帰れ 袖の風 土也

可 又 又

傾城の 舟は 舟の 梶の音 三秋

可 六角

孤舟や 浅くは 沼の 舟は 魚住

可 一

蓮波の 舟は 舟の 舟は 一言

可 何 又

さくら 舟は 舟の 舟は 一秋

可 一

蚊の跡よ暇遣の事日可 萌也

河も流の多びる言林

少けぬ多野流水

卯の影流

卯の影果方

入吟

あもく我ゆびと切千植

懐より成

懐のあり保

作者次身不同

一至 昌水 玄利 源水 玉人

我止 自謙 鬼外 澄正 詳庸

林を 凡子 流水 時久 雲志

晚柳 清信 毒流 正真 政要

京

芦舟

董山

一平

元水

甫草

政之

一薰

未及

夕雨

石挂

志看

千里

定林

正利

如竹

林松

竹子

宗安

鶯吟

桐案

好昌

卜水

推月

和仙

松風

如水

三柳

正重

直賈

流石

以來

佳園

泉風

清信

下松

下筵

友之

信治

友木

東月

榮元

光正

一樂

乱風

下筵

之八七

